



アップグレードの準備

- [HyperFlex アップグレードの準備 \(1 ページ\)](#)
- [クラスタのストレージ容量の確認 \(2 ページ\)](#)
- [Cisco UCS Manager の UCS ファブリック インターコネクト クラスタの正常性を確認する \(3 ページ\)](#)
- [HyperFlex クラスタのヘルスの表示 \(3 ページ\)](#)
- [ESX Agent Manager の表示 \(4 ページ\)](#)

HyperFlex アップグレードの準備



(注) 次のアップグレードプロセスは、ユーザーが Cisco HX リリース 3.5(2x) 以降からアップグレードする場合にのみ適用されます。

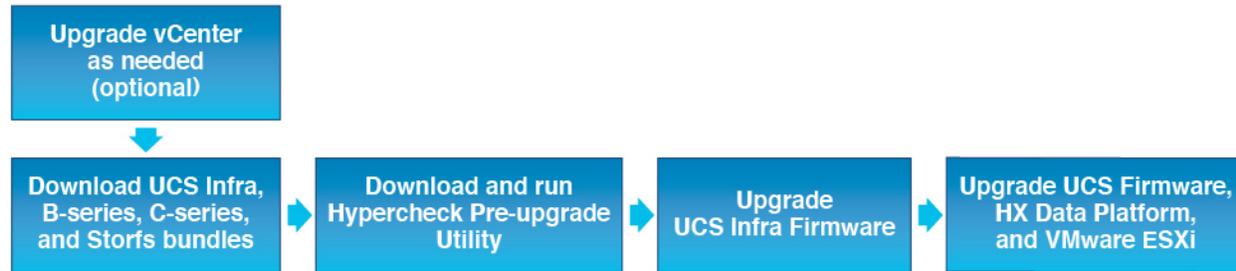


(注) HyperFlex 標準クラスタではなく、次のいずれかをアップグレードする場合：

- HyperFlex Edge クラスタについては、[HyperFlex Edge アップグレード](#) を参照してください。
- ストレッチクラスタについては、[ストレッチクラスタアップグレード](#) を参照してください。
- 分割アップグレード手順については、[HyperFlex オフラインアップグレードのワークフロー](#) を参照してください。

次の図は、フルスタックの HyperFlex 標準クラスタの一般的なアップグレードワークフローを示しています。

HyperFlex Upgrade Workflow



アップグレードでは、次のタスクをこの順序で実行する必要があります。

1. このガイドの「前提条件」の項に記載されているすべてのタスクを完了します。
2. Hypercheck システムで Hypercheck 健全性およびアップグレード前ツールを実行して、その安定性と復元力を確認します。[Hypercheck : Hyperflex 健全性およびアップグレード前チェック ツール](#)
3. VMware vCenter のバージョンが 6.5 U3 以降であることと vCenter と ESXi が互換性があることを確認します。VMware サイトの [VMware 製品の相互運用性マトリックス](#) を参照してください。また、vCenter バージョンがターゲット HXDP バージョンと互換性があることを確認します。

クラスタのストレージ容量の確認

シスコは、Cisco HX データ プラットフォームの既存のインストールのアップグレードを開始する前に、クラスタストレージ容量をチェックすることをお勧めします。クラスタ内のストレージ使用率（容量とオーバーヘッド）が 76% 以上の場合、アップグレードの検証は失敗します。

クラスタストレージ容量をチェックすることの背景の詳細については、『[Cisco HyperFlex データプラットフォーム管理ガイド](#)』の [HX ストレージ クラスタの概要](#)」の章を参照してください。

アップグレードを開始する前に、各 HyperFlex ノードで次の検証を実行します。

- HyperFlex クラスタが正常でオンラインであることを検証します。
- すべての HyperFlex クラスタ ノードが vCenter に接続されており、オンラインであることを確認します。
- DRS が有効であり、DRS に対して完全自動化に設定されていることを確認します。DRS が無効に設定されている場合、アップグレードプロセスでプロンプトが表示されたら、手動で VM を vMotion する必要があります。
- すべてのノードで vMotion が構成されていることを確認します。vMotion が構成されていない場合は、アップグレードを開始する前に、[HX クラスタの vMotion 構成を確認する](#) を参照してください。

- ESX Agent Manager (EAM) の状態が正常であることを確認します。
- Cisco UCS Manager で UCSM ファブリック インターコネクト クラスタの状態を確認します。

Cisco UCS Manager の UCS ファブリック インターコネクト クラスタの正常性を確認する

- ステップ 1** ファブリック インターコネクト の高可用性ステータスに、両方のファブリック インターコネクト が稼働中であると示されているかどうかを確認します。詳細については、『[Cisco UCS Manager System Monitoring Guide](#)』を参照してください。
- ステップ 2** すべてのサーバが検出されていることを確認します。
- ステップ 3** HyperFlex サーバにエラーがないことを確認します。
- ステップ 4** vNIC のエラーが解消されて、VMware ESXi vSwitch アップリンクが稼働中であることを確認します。
- ステップ 5** データ パスが稼働中であることを確認します。詳細については、『[Cisco UCS Manager ファームウェア管理ガイド](#)』を参照してください。

HyperFlex クラスタのヘルスの表示

CLI の使用

ストレージクラスタ内の任意のコントローラ VM にログインします。stcli cluster storage-summary --detail または hxcli cluster info [flags] コマンドを実行します。

```
address: 192.168.100.82
name: HX-Cluster01
state: online
uptime: 0 days 12 hours 16 minutes 44 seconds
activeNodes: 5 of 5
compressionSavings: 78.1228617455
deduplicationSavings: 0.0
freeCapacity: 38.1T
healingInfo:
  inProgress: False
resiliencyDetails:
  current ensemble size:5
  # of ssd failures before cluster shuts down:3
  minimum cache copies remaining:3
  minimum data copies available for some user data:3
  minimum metadata copies available for cluster metadata:3
  # of unavailable nodes:0
  # of nodes failure tolerable for cluster to be available:2
  health state reason:storage cluster is healthy.
  # of node failures before cluster shuts down:3
```

```

# of node failures before cluster goes into readonly:3
# of hdd failures tolerable for cluster to be available:2
# of node failures before cluster goes to enospace warn trying to move the
existing data:na
# of hdd failures before cluster shuts down:3
# of hdd failures before cluster goes into readonly:3
# of ssd failures before cluster goes into readonly:na
# of ssd failures tolerable for cluster to be available:2
resiliencyInfo:
  messages:
    Storage cluster is healthy.
    state: healthy
    hddFailuresTolerable: 2
    nodeFailuresTolerable: 1
    ssdFailuresTolerable: 2
spaceStatus: normal
totalCapacity: 38.5T
totalSavings: 78.1228617455
usedCapacity: 373.3G
clusterAccessPolicy: lenient
dataReplicationCompliance: compliant
dataReplicationFactor: 3

```

次の例の応答は、HyperFlex ストレージ クラスタがオンラインかつ正常な状態であることを示します。

ESX Agent Manager の表示

アップグレードする HyperFlex クラスタがリリース 3.5(1x) 以前の HXDP で展開されていた場合、HyperFlex コントローラ VM は ESX Agent Manager (EAM) によって管理されます。代わりに、[vCenter にログインして、> [HyperFlex コントローラ VM [サマリ (Summary)]> をクリックする (Click on the HyperFlex Controller VM)] (vCenter Click on the HyperFlex Controller VM Summary)] ことで、EAM によって管理されているかどうかを確認できます。[Managed By : vSphere ESX Agent Manager] が表示されている場合、HyperFlex コントローラ VM は EAM によって管理されているため、次のプロセスに従って EAM の健全性を確認する必要があります。それ以外の場合、このセクションは省略できます。



EAM ヘルスの確認 :

vSphere Web クライアントのナビゲータで、[管理 (Administration)] > [vCenter Server 拡張機能 (vCenter Server Extensions)] > [vSphere ESX Agent Manager] > [サマリ (Summary)] を選択します。

ESX Agent Manager (EAM) の状態が正常であることを確認します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。